

# 五ヶ瀬川水系における水害を大きく減らします！！

～ 河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）～

本年9月の台風14号は宮崎県内を暴風域に巻き込みながら九州西海上を通過し、五ヶ瀬川水系下流域の延岡市では、五ヶ瀬川水系の氾濫や内水により、浸水面積431ha、浸水家屋数1,714戸（床上浸水1,315戸、床下浸水399戸）に達する甚大な被害となりました。

国土交通省では浸水被害を大きく減少させるため、激特事業として採択することとしました。

## 記

### 激特事業の概要

#### 事業区間及び事業内容

##### 【九州地整】

五ヶ瀬川本川	約 12.8 km	河道掘削、築堤等
派川大瀬川	約 8.4 km	河道掘削、築堤、橋梁架替等
支川祝子川	約 1.6 km	築堤
支川北川	約 4.1 km	内水対策（追内川、川島地区）

##### 【宮崎県】

支川祝子川	内水対策（夏田地区）
-------	------------

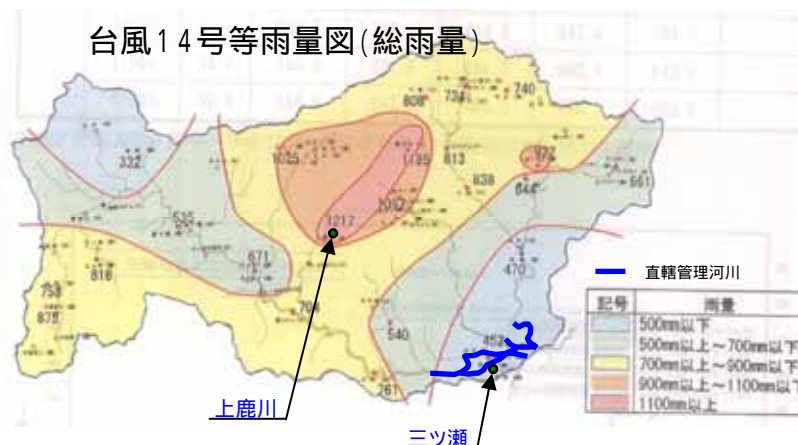
事業期間 平成17年度～平成21年度の5カ年間

採択事業費 212億円（九州地整200億円 宮崎県12億円）

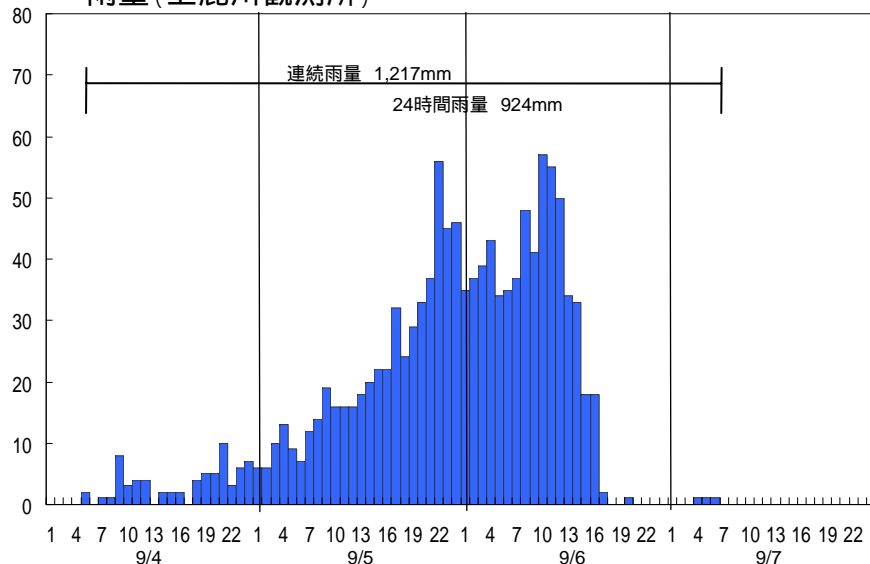
# 観測史上、最高水位を記録

台風14号は、9月6日宮崎県内を暴風域に巻き込みながら、九州西海上を通過し、五ヶ瀬川流域では、上鹿川で1,217mm、見立1,025mm上祝子1,097mmを観測するなど記録的な豪雨をもたらした。

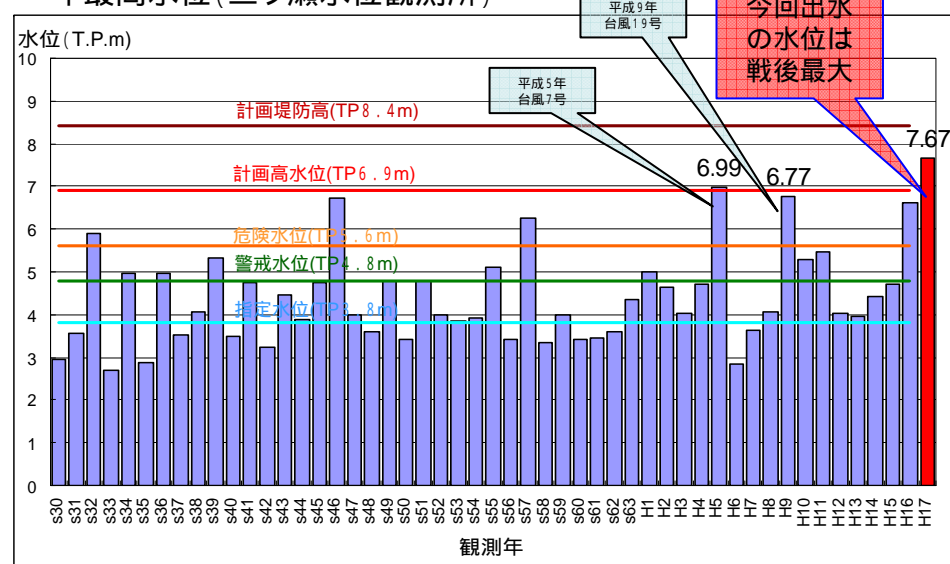
今回出水により五ヶ瀬川・大瀬川では軒並み既往最高水位を観測し、国管理区間内の5箇所で越水、また国管理区間内で4箇所、宮崎県管理区間で1箇所の内水被害が発生。この出水により、**浸水面積431ha**、**床上浸水1,315戸**、**床下浸水399戸**に達する甚大な被害が発生した。



雨量(上鹿川観測所)



年最高水位(三ツ瀬水位観測所)



# 五ヶ瀬川の越水及び内水により、多くの浸水被害が発生



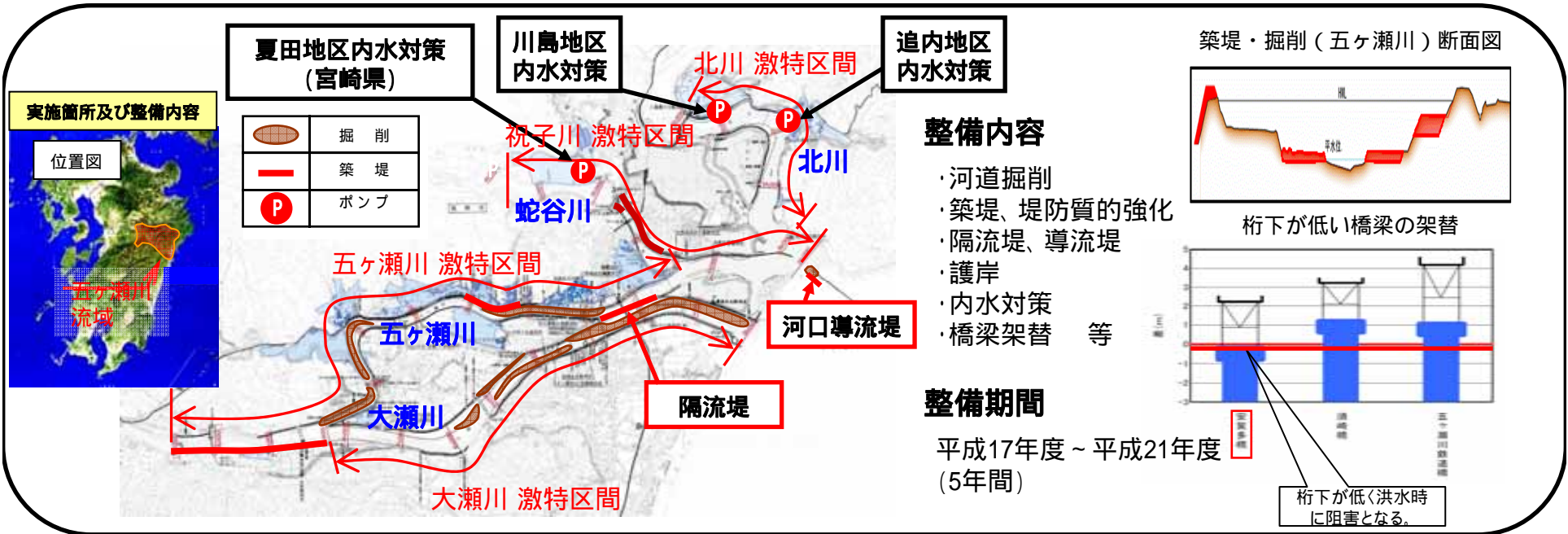
凡 例	
	越水箇所
	床上浸水範囲
	床下浸水範囲
	外水氾濫範囲

一般被害(宮崎県内五ヶ瀬川流域関係市町村)

市町村名	床上浸水	床下浸水
延岡市(対象区域)	1315	399
延岡市(上記以外)	85	9
北方町	224	37
北川町	55	87
日之影町	58	24



# 激特事業実施箇所と整備内容



## ソフト対策

### 水災害危機管理体制の確立

- 被害軽減のための具体的方策や地域との連携(土地利用規制など)等により、災害に強い地域づくりの推進を図ることを目的とする「五ヶ瀬川浸水被害軽減対策委員会」を設立
- 各防災機関及びライフライン関係機関等を結んだ、事務所独自の『危機管理システム』の本格運用
- 県経由で情報伝達している伝達ルート補助として、同時に各自治体への直接伝達
- マスコミ(NHK、地元ケーブルテレビ等)への画像情報の提供

### ハザードマップ作成に関する市町村への支援強化

- 五ヶ瀬川水系浸水想定区域図(H16,12,10公表)を活用し、自治体によるハザードマップ作成等、地域での避難計画の策定に向けた取り組みの支援強化

### 水害に強い地域づくりへの支援(自治体と住民が一体となった取り組み)

- 土地利用規制や建物のピロティ化など自治体による防災に関する取り組みを支援
- 避難勧告、避難指示等の広報による避難に対する住民意識の改善
- 高齢者等の災害要援護者対策として、登録制の導入等
- 避難場所等の再検討
- その他(例:広報車増設、メール等情報発信)